

Fixrグラウンドアンカー工法 (高耐食・高耐力グラウンドアンカー工法)

【更新承認日】 令和5年4月27日

【取得会社】 国土防災技術株式会社、合同会社北谷中村、旭建設株式会社、サンスイ・ナビコ株式会社

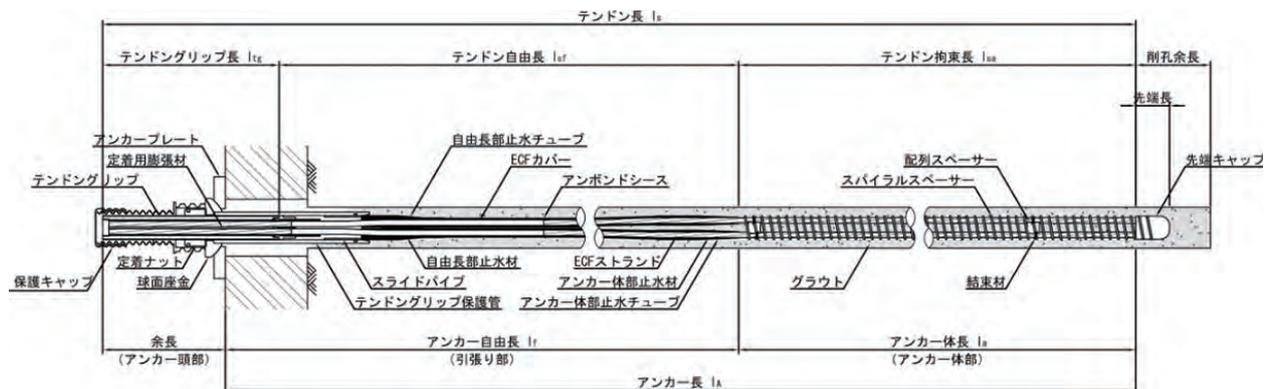
【技術詳細に関するURL】 <https://www.sansui-n.com/>

技術の概要

Fixrグラウンドアンカー工法は、アンカー体を横補強鉄筋(スパイラルスペーサー)で補強するとともに、構造部材を全て耐食性材料により構成した高耐食・高耐力グラウンドアンカーである。

Fixrグラウンドアンカー工法の型式は、ナット定着方式の周面摩擦引張り型アンカーであり、次のような特徴を有した工法である。

- (1) 構造部材を全て耐食性材料のみで構成し、長寿命化とメンテナンスコストの最小化を図ることができる。
- (2) アンカー体部をスパイラルスペーサーで補強し、グラウトの割裂発達を抑制して耐力を向上させることができる。
- (3) スパイラルスペーサーにより、施工時にテンドンのエポキシ樹脂被覆の損傷を防ぐとともに、グラウトのかかりを確保することができる。



Fixrグラウンドアンカー標準構造図

性能・機能により採用された施工事例



三重県：ダムのかん水水面水没施工
高耐食・高耐力・点検性能



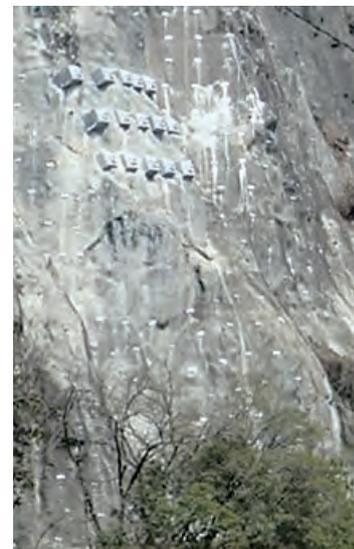
福島県：荷重管理対策
高耐食性能・荷重調整機能



新潟県：軟弱地盤・荷重管理対策
高耐力性能・荷重調整機能



岩手県：維持管理対策
高耐食・点検性能



長野県：維持管理対策
高耐食・点検性能

設計施工指針の改訂ポイント

- 参考文献の改訂を踏まえて、語句や記号について変更しました。
- 本アンカーの「防食構造」について、構成部材やこれまでの施工実績から「通常仕様」と「高腐食環境仕様」に分類しました。「通常仕様」はJGS基準の防食構造Ⅱに相当、「高腐食環境仕様」については防食構造Ⅲに相当する防食構造を有しています。ただし、高腐食環境のうち、河川などの水際環境を除いた塩分環境では環境要因の強さに応じて耐久性を保持できる期間が大きく異なることから、飛来塩分量や周辺地物の腐食状況など、腐食に関する十分な調査を踏まえて適用性を検討する必要があります。またさらに、酸性地盤環境では使用するグラウトを含めたアンカー体の劣化についても検討が必要となります。